



5月・6月の主な研修

【動画】：開始日(10:00)終了日(17:00)
以外は、24時間視聴可

- 【**集合**】対人援助技術研修「多職種連携を支えるコミュニケーション技法～心理的安全性がチームを変える!～」
R8.5.18(月)13:30～16:30 講師:土屋 典子 氏
- 【**集合**】食支援(栄養・調理)研修「コツコツとろろ!骨活レシピ」
R8.5.21(木)①10:00～12:30 ②14:30～17:00
講師:米山 久美子 氏/竹内 洋子 氏
- 【**動画**】認知症ケア研修 認知症の理解「認知症ケアの理念と視点～基礎知識を実践につなげるには～」
R8.5.21(木)～7.21(火) 講師:市川 裕太 氏
- 【**集合**】クレーム対応研修「福祉従事者が学ぶクレーム対応」
R8.5.25(月)14:00～16:00 講師:向山 晴子 氏
- 【**動画**】ケアマネジャー研修【共通】「ケアマネジャーの役割理解」
R8.5.25(月)～7.6(月) 講師:山田 美代子 氏
- 【**動画**】認知症ケア研修 制度の理解「世田谷区認知症ととに生きる希望条例及び認知症に関する制度と動向」
R8.5.28(木)～6.29(月) 講師:大熊 由紀子 氏/永田 久美子 氏 他
- 【**集合**】高齢・障害支援力向上Sofuku講座「車椅子の基礎」
R8.5.29(金)14:30～17:00 講師:富岡 咲良 氏 他
- 【**動画・集合**】ケアマネジャー研修【新任】「事例演習」
R8.5.29(金)～6.29(月) 講師:桑原 典江 氏
- 【**集合**】対人援助技術研修「利用者・家族とのコミュニケーション(基礎)～『安心』と『信頼』を届ける、最初の一歩～」
R8.6.3(水)14:00～16:00 講師:諏訪 茂樹 氏
- 【**動画**】介護技術研修(新任2)「介護職が学ぶフットケア～足を知り、足から支える～」
R8.6.4(木)～7.3(金) 講師:菊池 恭太 氏
- 【**動画**】人権の理解促進研修「セクシュアルマイノリティの理解～多様性を認め合い自分らしく暮らせる地域社会を目指して～」
R8.6.18(木)～7.20(月) 講師:永易 至文 氏/佐々木 幸氏 他
- 【**集合**】認知症ケア研修 認知症の理解「医学的視点からの理解と支援～なかなか言えない認知症ケアの声音～」
R8.6.29(月)14:00～16:00 講師:野澤 宗央 氏

詳細は、研修センターホームページ、公式X、メール情報便等でお知らせします。



令和8年度 事業案内

「世田谷区福祉人材育成・研修センター 令和8年度 事業案内※1」を、各事業所にお送りしました。事業所における計画的な研修受講にお役立てください。研修センターホームページからダウンロードができます。

※1 [研修センターホームページ](#)→[センターのご案内](#)→[事業案内](#)

・研修履歴管理のため、「研修計画・受講記録 書式※2」をご活用ください。
※2 [研修センターホームページ](#)→[センターのご案内](#)→[研修計画・受講記録 書式](#)

・「研修センターご意見箱※3」を設けています。福祉人材確保が厳しい中、福祉人材の確保・育成・定着支援にむけて、お気づきのこと、ご意見、ご感想など、皆さまの声を寄せてください。皆さまからいただいたご意見等は、よりよい福祉人材対策に活かしてまいります。
※3 [研修センターホームページ](#)→[お知らせ](#)→[研修センターご意見箱](#)

上記のほか、「年間スケジュール一覧」、「職種別受講目安一覧」、世田谷区、東京都、国の情報がわかる「関連リンク集」など、掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

年間130本の研修から、学びに合わせ select!



研修センター公式ソーシャルメディア

区内事業者・区民の皆さまに、研修センターの情報を公式X(エックス)をとおして、ご案内します。

- ・研修のご案内
- ・イベントのご案内
- ・広報誌
- ・お知らせ 等



研修センター職員一同
よろしくお祈りします。

発行：世田谷区福祉人材育成・研修センター
〒156-0043世田谷区松原6-3-7-10
世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1階
電話：03-6379-4280
FAX：03-6379-4281
HP：https://www.setagaya-jinzai.jp/



世田谷区福祉人材育成・研修センター

だよ

じんざいくん便り



令和8年4月 第36号

令和7年度「これからの世田谷の福祉を考える」シンポジウム ～「誰一人取り残さない」地域共生社会の実現～

【ライブ配信】
令和8年3月23日(月)18時30分～20時40分

【動画配信】
令和8年4月1日(水)～公開講座として配信可!

第1部 基調講演・調査報告

基調講演 「これからの世田谷の福祉に求められるもの」
中村 秀一 氏 (世田谷区地域保健福祉審議会会長)



「支えられる側」から「地域をつくる主役」へ

- これからの世田谷が目指すのは、誰もが「居場所」と「出番」を持てる福祉です。
- 区民の力(エンパワメント)
豊かな人材を活かし区民が地域の担い手となる
 - 健康と参加
活動を通じて自分自身も元気になる
 - 成果(アウトカム)重視

調査報告
「2つの調査から見える福祉事業所の現状と課題」
瓜生 律子 (世田谷区福祉人材育成・研修センター)



「2つの調査」

- ① 居宅介護支援事業所等調査
世田谷区、研修センター、世田谷ケアマネジャー連絡会の三者合同で実施
 - ② 福祉人材に関する世田谷区福祉事業所調査
事業所における人材の現状と課題について調査
- 調査へのご協力ありがとうございました!
調査結果はホームページで閲覧可能です!

第2部 実践報告・意見交換 シンポジウムコーディネーター:中村 秀一 氏

<p>実践報告①</p> <p>山口 潔氏 かくろうクリニック等々力 地域共生社会と新しい認知症観</p> <p>新しい認知症観</p> <p>●認知症の人は「支えられる対象」ではなく、尊厳ある個人</p> <p>●本人の経験や能力を尊重し、住み慣れた地域で希望を持って共に支え合いながら暮らせる社会が重要</p>	<p>実践報告②</p> <p>田中 美佐氏 特別養護老人ホーム博水の郷 施設長会の取り組みとこれからの特養の役割</p> <p>特養は地域福祉の拠点へ</p> <p>●「終の棲家」としての施設</p> <p>●「地域公益活動」を通じて福祉の拠点へ</p> <p>●身元保証から死後事務まで、特養が培った専門性で地域を支える</p>	<p>実践報告③</p> <p>佐藤 藤平氏 世田谷ケアマネジャー連絡会 ケアマネジャーから見える世田谷の福祉の未来</p> <p>世田谷の福祉の未来とは</p> <p>●人生の最期を安心して迎えられる地域</p> <p>●孤立しない地域</p> <p>●支援からこぼれ落ちない地域</p> <p>→その人らしい人生を最期まで支えられる世田谷に</p>	<p>実践報告④</p> <p>徳永 宣行氏 世田谷区介護サービスネットワーク 地域と繋がる介護サービスネットワーク</p> <p>地域と繋がる介護サービスネットワークとは</p> <p>●目的：サービス質の向上 事業者間の連携強化 課題共有</p> <p>●体制：地域・業種別の部会による自主活動が中心 制度に関する意見交換を通じて、地域包括ケアを推進</p>
--	--	--	---

ライブ開催のアンケートより

- 区民の意識を高め、いかに参画してもらうか、他職種・他機関が連携して考え、早急に取り組んでいかなければならないとあらためて考えさせられた。
- 2025年が過ぎ2040年に向けて、死亡小票分析などから世田谷区を取り巻く状況がわかり、何が必要になるかが明確になった。

シンポジウムの動画は公開講座にて視聴できます!
研修センターホームページ「公開講座」→「医療・福祉」をご覧ください!

世田谷区 研修センター 検索

Kaigo PRiDE @SETAGAYA @SETAGAYA 待望の第2弾!!

介護の魅力を発信する ポートレート写真制作のお知らせ

日々、世田谷区の介護の最前線で活躍される介護職の方々の声を広く発信するため、Kaigo PRiDE @SETAGAYAを実施しています。令和4年度に制作したポートレート写真を様々なイベント等でご覧いただいておりますが、この度、待望の@SETAGAYA 第2弾を撮影・制作いたしました! 介護の仕事に対する熱き思いを形にして、研修センターでは多くの方々に介護の仕事の魅力を発信します!

カメラマン マンジョット・パディ 氏
一般社団法人KaigoPRiDE代表理事
インド出身、国内大手企業や伊勢神宮など、日本の魅力を世界に発信するグローバルブランディングのスペシャリスト、介護の魅力を映す映画「もう一歩」を監督。

Kaigo PRiDEの過去の作品はこちら
からご覧いただけます

研修ピックアップ

令和7年度 医療・福祉連携研修 特集

医療と福祉サービスの従事者が、テーマに沿って医療知識について学び、多職種によるチームケアにおけるそれぞれの役割や専門性に対する理解を深めることを目的に、4本の研修を実施しました。令和7年度に実施したライブ研修と集合研修では、講師と共によりよい支援について皆で考え、動画研修を通して学びを深める機会となりました。

認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるために

【ライブ研修】開催日：令和8年1月16日（金）
【動画研修】視聴期間：令和8年2月6日（金）10時～3月6日（金）17時

認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることを支援していくためには、医療・福祉サービスの連携だけではなく、地域との繋がりが重要です。支援に必要な医学的知識に加え、認知症の方を取り巻く現状と地域共生社会について理解を深め、これからの支援のあり方について考える研修となりました。

医療法人社団創福会
ふくろうクリニック等々力
理事長 山口 潔 氏

<認知症と地域共生社会>

- 認知症の医療やケアは、地域の医療機関、介護事業者、行政との連携に加えて、地域住民との連携が重要。
- 地域住民と連携するためには、支援者と患者という関係性を脱却し、共に生活する仲間同士の助け合いという視点が必要。
- それはまさに地域共生社会の考え方と一致する。

<地域共生社会のポイント>

- ◆制度・分野ごとの「縦割り」を超える
- ◆「支え手」「受け手」という関係を越える
- ◆地域住民や地域の多様な主体が参画する
- ◆人と人、人と資源が世代や分野を越えてつながる
- ◆住民一人ひとりの暮らしと生きがいとともに創る
- ◆地域とともに創る



<認知症観を変える>

- ◆認知症になると、何もできなくなるというのは偏見です。認知症の方はさまざまな能力も持っていることを多くの方に知ってもらいましょう。
- ◆認知症の方が地域に暮らし続けることを、家族介護者や地域住民に受け入れてもらうには、認知症の方に対して「寛容」になってもらえるよう、認知症の方の存在とその心を、自分事として知ってもらうことも大切です。

◎認知症の方は、進行の経過の中で施設に入所されることがとても多いです。
◎いろいろな課題はありますが、私たち専門家が「認知症になっても、自宅で一人あるいは家族と暮らせる」ための方法を一緒に考えましょう！

アンケートより ●地域共生社会を目指しての考え方や、実際に行われている取り組みを知り、イメージすることができました。●認知症に対する在宅医療の有用性を知ることができた。●普段の訪問で、認知症の方と会話を重ねていることに迷いもあったのですが、そういった関係性も大切だと思えるようになりました。

知っておきたい！摂食嚥下治療とアプローチ～食べたい思いを叶えるために～

【集合研修】開催日：令和8年2月13日（金）

本研修では、訪問歯科診療における摂食嚥下治療の実際と、必要となる情報収集のポイントや、嚥下訓練等について学びました。また、参加者からの多くの質問にもお答えいただき、安全かつ栄養面と嗜好を考慮した摂食嚥下の支援について、参加者のみなさんと共有する機会となりました。

医療法人社団夏櫻会
理事長 奥主 嘉彦 氏

摂食嚥下障害の検査法

頸部聴診法 CA (Cervical Auscultation)

嚥下造影検査 VF (Video Fluoroscopic Examination of Swallowing)

嚥下内視鏡検査 VE (Video Endoscopic Evaluation of Swallowing)

摂食治療で目指すもの

- ★摂食嚥下障害は病気でなく「障害」であるという理解が必要。
- いかに機能低下の進行を緩やかにするか。
- ★早急に結果がでるものではないため、患者さんのモチベーションを保つのが難しい。
- だからこそ

医療・介護の協力・共通意識が大切！

Q) 誤嚥の危険性があるても本人やご家族が食べることを希望した場合の対応方法を教えてください。

質疑応答より

A) 嚥下検査を行い、その方が好きなものを食べられるためにはどうしたらよいか、安全でリスクの少ない方法（食形態・姿勢・環境等）を検討します。ただし、主治医への報告・連携は重要です。訪問看護や多職種間の連携も不可欠です。



アンケートより ●身体・食事・環境の情報収集の必要性や舌の重要性を学びました。◆食形態と体重変化について、あまり着目してこなかったことで意識することをスタッフにも共有したい。◆訪問歯科の選定やりハビリに活かせると思えました。◆先生が「1人の人間として食べてもらいたい。好きなものを食べていただきたい」と仰っていて、患者さんへの思いが伝わりました。



透析療法における在宅支援と多職種連携～腎臓病・透析患者を地域でどう支えるか～

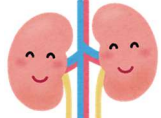
【ライブ研修】開催日：令和8年2月28日（土）
【動画研修】視聴期間：令和8年3月10日（火）10時～4月10日（金）17時

高齢者の透析患者は年々増加しています。腎代替療法のひとつである透析療法について、治療の種類や方法、メリット・デメリットをふまえて、在宅生活を送る上でより良い治療選択につなげられるための支援方法について学びました。

公益社団法人日産玉川病院
腎臓内科
医師 若林 隼人 氏

<腎臓の働き>

- 1) 体液量の調節
 - ・身体の水分量を適量に保つ
- 2) 老廃物の排泄
 - ・体内の成分を適度な状態に整える
 - ・老廃物を尿中に排泄する
 - ・身体にできた酸を尿中に排泄する
- 3) ホルモンの調節
 - ・造血ホルモンをつくる
 - ・骨を丈夫にするビタミンDを活性化
 - ・血圧の調節をする



透析か。通院増えるし制限が増えてつらいついて聞かから嫌だー。



透析患者の平均年齢は年々上昇傾向。2024年末の年齢分布では70～84歳に集中しています。高齢の透析患者は増えており、ADLの低下や認知機能の低下、併存疾患の影響が問題となっています。

しかし・・・

CKDが進行すると心臓や脳血管の病気に罹るリスクが上昇します。



共同意思決定 (SDM) とアドバンスケアプランニング (ACP)

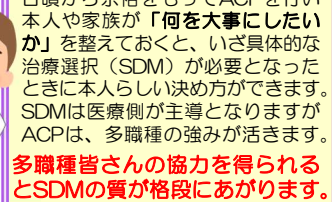
日頃から余裕をもってACPを行い本人や家族が「何を大事にしたいか」を整えておくと、いざ具体的な治療選択 (SDM) が必要となったときに本人らしい決め方ができます。SDMは医療側が主導となりますがACPは、多職種の強みが活きます。多職種皆さんの協力を得られるとSDMの質が格段にあがります。



CKD患者は約2,000万人といわれており、成人の5～6人に1人の割合です。



自覚症状が乏しく、尿の異常、特に蛋白尿により発見されることが多いので、定期的な検査が大切です。悪化した腎機能は回復することがないため、早期発見、早期治療によって進行を遅らせることが重要です。



地域を支える薬局・薬剤師のしごと

【ライブ研修】開催日：令和8年2月25日（水）
【動画研修】視聴期間：令和8年3月17日（火）10時～4月17日（金）17時

利用者支援において、在宅療養に欠かせない薬を取り扱う薬局や薬剤師との連携は円滑にとれていますか？本研修では、薬の知識と薬局・薬剤師の仕事の正しく理解することを目的に、3名の先生方の講義を通して、知っていただくよう知らなかった「地域における薬局・薬剤師の役割」について学びを深めました。

抗菌薬の種類と使い方
玉川砧薬剤師会 理事
とんぼ薬局 水越 淳友 氏

抗菌薬は感染症治療に不可欠であり、細菌の増殖を抑制したり死滅させたりする重要な役割を果たしています。

抗菌薬とは

抗菌薬は、細菌を攻撃し、感染症の治療に使われる薬です。ウイルスには効果がなく、細菌特有の構造をターゲットにしています。

不適切な使用は薬剤耐性をもたらす、将来の健康を脅かします。2016年、厚生労働省は薬剤耐性を抑制するためのアクションプランを策定しています。

- 適切な抗菌薬の選択
 - 投与量と期間の最適化
 - 教育と啓発の重要性
- これらによって薬剤耐性菌の増加を防ぐ取り組みを行っています。

薬剤師は、調剤業務を基盤として
*健康維持・増進の手助けをする
セルフメディケーションの支援
*医療・介護の相談窓口としての役割
*在宅医療の参画、多職種・薬業連携を通じた情報共有
など、地域包括ケアシステムの中で多面的な役割を担っています。

薬剤師が担う多目的な役割
世田谷薬剤師会 副会長
中島薬局 原田 由美子 氏

患者さんの生活背景や価値観に寄り添い、医療・介護・福祉をつなぐ、「身近な医療の窓口」として地域の安心と健康を支える存在です。

薬剤師の目線
世田谷薬剤師会 事務局長
小林 哲男 氏

患者さんに、ぜひお伝えください。

- 処方箋を絶対になくさないこと。
- 再発行はお薬代を含めて10割負担になります。
- 処方箋の期限は発行日を含め4日以内です。
- 慢性疾患の薬を服用している方は医療機関の休診日を確認し、余裕をもつことも大切です。(災害時に備えて、余裕があると安心です。)

アンケートより ●薬局で待つ時間が長くなると、薬剤師さんが何人もいるのにどうして時間がかかるのか不思議でしたが、確認やチェックを何度も行うことで安全性が保たれていることがよくわかりました。(ケアマネジャー) ●そうそう！薬剤師って、あなたのために頑張っているんだよー、人目につかない仕事をたくさんしているんだよー！だから勝手に服用を止めないでしっかり飲んでくださいねって思っています。(薬剤師)